

佐々町 公園施設長寿命化計画

平成29年3月

佐々町 建設課

1. 都市公園整備状況

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たりの都市公園面積
11	11.4ha	8.2 m ²

(佐々町人口 13,809 人 (住民基本台帳) : 平成 28 年 10 月 1 日時点)

2. 計画期間 [平成 29 年度～平成 38 年度 (10 箇年)]

3. 計画対象公園

①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩縁	都縁	その他	合計
9	1	1										11

②選定理由

本町の都市公園全 11 公園を対象に計画策定を行う。

昭和 40 年代から順次整備された都市公園が 30 年以上経過し、施設の老朽化や機能不足などが進んでいる。公園利用者が安全で快適な公園利用が出来るよう、計画的に施設更新を実施し適切に保全を図りながら、ライフサイクルコストの縮減を目指すため計画策定を行うものとした。

4. 計画対象公園施設

①対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
69	16	40	44	14	12	32

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
147	—	—	374

②これまでの維持管理状況

これまですべての公園施設を対象に、佐々町建設課が直営で維持保全（清掃・保守・修繕）を実施している。佐々町が所有している全公園施設を対象に平成 21 年度に公園長寿命化のために健全度調査および長寿命化計画を策定している。平成 28 年度に、計画の見直しのための調査、計画作成を実施している。

また、皿山公園に設置されている遊具は、施設設置から期間が経過しており、定期的な実施していた補修による施設の維持が困難な状況となり、計画的な補修・更新が必要となってきた。

③選定理由

計画対象公園は、公園施設の長寿命化対策により、公園機能の保全を図りつつ、計画的な更新により施設機能の向上を図りながら、ライフサイクルコストの最適化を図るものとする。

また、日常点検や定期点検により、施設の安全性を確保し、予防保全型管理を導入していくものとする。

なお、本町は、公園施設長寿命化計画を平成 28 年度に策定する。

5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

1. 点検調査実施時期と期間：平成 28 年 6 月から平成 28 年 8 月

2. 点検調査方法：目視、触診、聴診などと検査器具や測定器具を使用した診断を行い、磨耗状況や変形、経年変化などを確認する劣化診断を実施した。

3. 点検調査結果の概要

◎施設の健全度

A:全体的に健全である。 14 施設

B:全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 56 施設

C:全体的に劣化が進行している。 43 施設

D:全体的に顕著な劣化である。重大な事故に繋がる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要とされるもの
13 施設

6. 日常的な維持管理に関する基本的方針

○公園の管理体制

維持保全（清掃・保守・修繕）と日常点検は、公園管理者（建設課）により随時実施し、公園施設の機能の保全と安全性を維持するとともに、施設の劣化や損傷を把握する。

○年間の維持保全内容（清掃・保守・修繕）

清掃等は、公園管理者（建設課）が実施する。また、街区公園については、地域住民等との協働により維持管理を実施する。

○異常が発見された場合の措置

公園施設に異常が発見された場合は、使用時の安全性が著しく損なわれる場合は、直ちに使用を中止し、事故等の予防を実施する。加えて、この時点で健全度調査を実施し、補修、もしくは更新の判断を適切に実施する。

7. 公園施設の長寿命化のための基本方針

1. 予防保全型に類型した施設

劣化・損傷状況を目視等で直接確認できる施設について、維持保全に加え、日常・定期点検を行う。また、健全度調査を5年に1回程度実施し、健全度判定を行う。

判定結果に基づき、時間経過に伴う劣化・損傷を予測した上で、施設の機能保全や安全性確保に支障となる劣化・損傷を未然に防止することを目的として、計画的な改修を行い、LCCの最適化を行う。

2. 事後保全型に類型した施設

維持管理（清掃、保守、修繕、日常点検、定期点検）を実施し、劣化や損傷、異常、故障が確認された時点で更新（部分補修）を行う。

※予防保全的管理を行っても、ライフサイクルコストの低減が見込めない施設も事後保全型管理施設とする。

8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期など

※別添「公園施設長寿命化計画調書（様式1「総括表」、様式2「都市公園別」、様式3「公園施設種類別現況」）による

9. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

今回長寿命化計画を策定した公園における10年間のライフサイクルコスト縮減額は、1,850千円である。